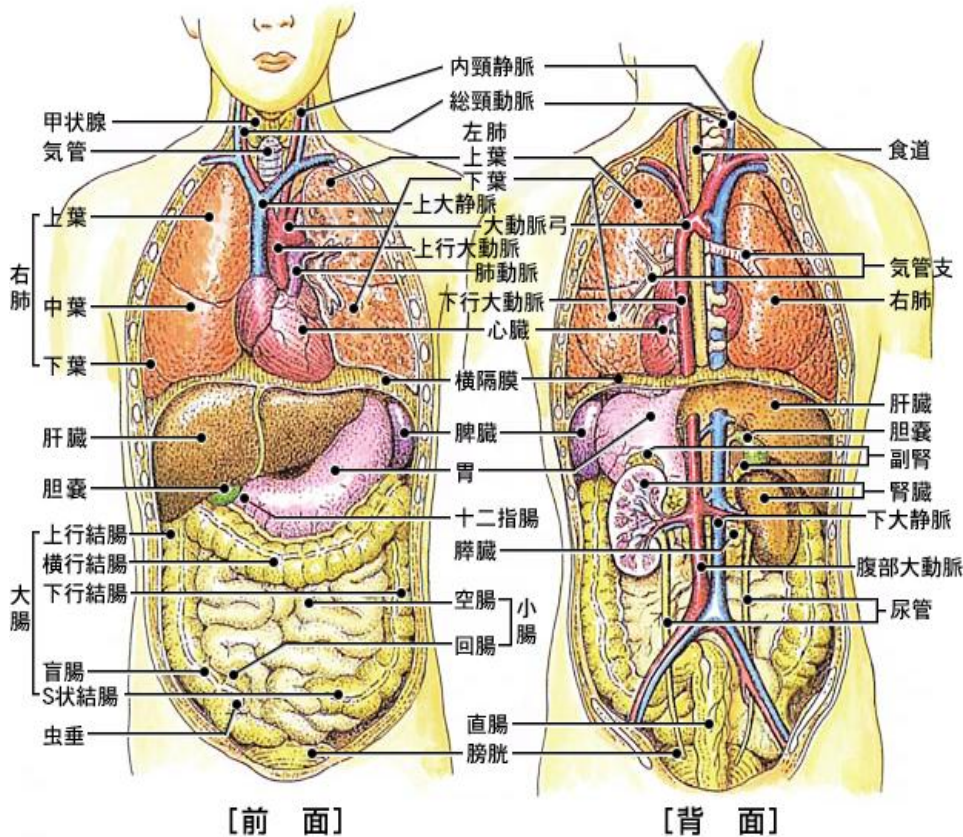


検査結果基準値一覧と各種項目の説明(2ページあります)



「家庭の医学」デジタル版Ⅱ，時事通信社，2003年8月制作より引用-

略名	項目名	基準値
TP	総蛋白	6.7~8.3
Alb	アルブミン	3.9~4.9
T-CHO	総コレステロール	130~220
HDL-C	高比重リポ蛋白	40以上
LDL-C	低比重リポ蛋白	139以下
TG	中性脂肪	30~150
UN (BUN)	尿素窒素	8~20
CRE	クレアチニン	0.6~1.1(男) 0.4~0.8(女)
UA	尿酸	7.0以下
Na	ナトリウム	135~147
K	カリウム	3.3~4.8
Cl	クロール	98~108
IP	無機リン	2.5~4.5
Ca	カルシウム	8.7~11.0
Glu	血糖	70~110
Mg	マグネシウム	1.8~2.4
AMY	アミラーゼ	41~112
LIPA	リパーゼ	7~60
CK (CPK)	クレアチンキナーゼ	56~244(男) 43~165(女)
CK-MB	CPK分画	15以下
T-Bil	総ビリルビン	0.2~1.2
D-Bil	直接ビリルビン	0.0~0.4
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	8~38
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	4~44
LD (LDH)	乳酸脱水素酵素	106~211
ALP	アルカリフォスファターゼ	104~338
GGT (γ-GTP)	γ-GTP	16~73
ChE	コリンエステラーゼ	229~521
CRP	C反応性蛋白	0.3以下
A1C	ヘモグロビンA1c(NGSP)	4.6~6.2(国際標準値)
HbA1c	ヘモグロビンA1c(JDS)	4.3~5.8(日本糖尿病学会値)
WBC	白血球	3.0~8.5
RBC	赤血球	4.67~5.78(男) 3.81~4.93(女)
HGB	ヘモグロビン	13.9~17.6(男) 11.7~15.2(女)
HT	ヘマトクリット	42.3~51.6(男) 32.3~44.9(女)
PLT	血小板	185~267
尿蛋白		(-)
尿糖		(-)
尿ケトン体		(-)

基準値は施設によって多少変わりますので御注意下さい  
埼玉県済生会栗橋病院臨床検査科

2016. 7. 1~

### 全身:TP, ALB

血清中の蛋白は大きくアルブミンとグロブリンに分けられ、その量の増減をみる事で全身の健康状態や病気の有無を知る事が出来ます。

### 血糖関連:GLU, HbA1C, 尿糖, 尿中ケトン体

GLUは血液中のブドウ糖の量から、糖尿病の有無を調べます。食後の検査では高くなります。

HbA1Cは1~2ヶ月前の血糖の状態を知る事が出来ます。

尿糖は血糖が160~180mg/dlを超えると陽性になります。

尿中ケトン体は、嘔吐・下痢などでの糖吸収障害、糖尿病での糖代謝障害があると脂肪酸の分解が起こり陽性になります。

### 心臓:CK(GPK), CK-MB

心筋の状態を知る事が出来ます。激しい運動の後では高くなります。

### 膵臓:AMY

膵臓、唾液腺の状態を見る事が出来ます。

### 腎臓:UN(BUN), CRE, 尿蛋白

腎臓から排泄させる老廃物で、体に残ったこれらの老廃物の量から腎臓の状態を見る事が出来ます。

尿蛋白通常は陰性ですが腎障害により出現し、多量に排泄されると浮腫をひき起こします。

### 肝臓・胆管:ALT, AST, LD(LDH), ALP, GGT( $\gamma$ -GTP), T-Bil, D-

ALT, ASTは肝細胞が炎症を起こしたり壊れたりすると細胞内からこれらの酵素が出てきます。これらの酵素の量から肝細胞の状態を見る事が出来ます。

LDHは肝臓、心臓、肺、血液、骨格筋に多く含まれ、これらの状態を見る事が出来ます。

ALPは肝臓、胆道、骨の状態を見る事が出来ます。

$\gamma$ -GTPは肝臓、胆道の状態を見る事が出来ます。薬剤性肝障害やアルコール性肝障害の指標になります。

T-Bil, D-Bilは黄疸の有無や種類を知る事が出来ます。

CHEは肝臓で作られる酵素で、肝臓の状態を見る事が出来ます。

### 脂質:CHO, HDL-C, LDL-C, TG

LDL-Cは血管壁に溜まり動脈硬化や心筋梗塞発症の危険因子とされ【悪玉コレステロール】と呼ばれます。

HDL-Cは溜まったLDL-Cを取り除く【善玉コレステロール】と呼ばれています。

2つのバランスや全体の量であるCHOやTGから動脈硬化の程度を知る事が出来ます。TGは食後の検査では高くなります。

### 痛風:UA

痛風の指標になります。

### 電解質:Na, Cl, K, IP, Ca

水分やミネラルのバランスで栄養の状態や腎臓の状態を、CaやIPでは骨の状態や副甲状腺の状態を知る事が出来ます。

利尿剤を服用している時には、KやMgが低くなることがあります。

